

越ヶ谷 秋まつり に行こう!

10月
10日(土) 11日(日)

江戸時代から300年以上続く越ヶ谷秋まつり。五穀豊穰への感謝と地域の発展を願う、越谷市を代表するお祭りのひとつです。令和8年1月に、「越谷久伊豆神社例大祭の山車行事」として越谷市無形民俗文化財に指定されました。これまで越ヶ谷八ヶ町が中心となって継承されてきた伝統とともに、次世代へつなげるための新たな一歩を踏み出しています。

閏 久伊豆神社 ☎962-7136

越ヶ谷秋まつりの見どころは、宮本町が担ぐみこしと、それを迎える越ヶ谷八ヶ町の山車。8台の山車がまちなかを巡る様子は迫力満点。山車の曳き廻しを彩る、木遣唄やお囃子も見逃せません。越ヶ谷地域の皆さんによって古くからの習俗がしっかりと受け継がれています。

迫力のある山車行事が 越谷市指定無形民俗文化財に

もともとは重量物の運搬時に息を合わせるために歌う労働歌で、秋まつりでは鳶や町内の大人・こどもがそろって山車の曳き歌として歌います。町内のこどもたちは、一度は木遣を歌ったことがあるんだそうです。

各町内から依頼された市内外の囃子連中が、山車と囃子舞台に分かれて演奏します。初日の午前0時に、年番町の一番太鼓がまつり開始の高まりを伝えます。山車の曳き廻しの終盤に、各町内がそろいお囃子をたたき合う姿は圧巻です。

お囃子

越ヶ谷秋まつりは、江戸時代から300年以上続いています。山車も大切に保存されてきました。三輪の山車って珍しいし、カッコいいと思うんです。通りを曲がるときやすれ違うときの迫力もすごくて。地元で責任や誇りを持って運営してきましたが、山車を曳く若手やこどもたちも少なくなっています。そのため、地元だけでなく、多くの人たちにも参加しやすい環境を作っていく必要があると思っています。まつりには、その場でしか味わえないライブの魅力があります。目の前から聞こえる木遣や山車の車輪がさしむ音などを感じてもらいたいですね。



秋まつりでしか味わえない
木遣や山車の迫力を感じて

新石二青年会長 絲川拓夫さん

山車人形(鍾馗)

高さ
約5m!

見どころ
壱

山車

高張提灯

丸提灯

囃子座

三輪

舵取棒

曳き綱

新石二の山車

高さは、なんと約5m。バラバラの部材を組み立ててまちなかを運行します。車輪が三輪で、鳶が力を合わせて一気に回す旋回は迫力十分。山車を飾る山車人形は、神話や歴史上の人物をモデルにしている、大変貴重なものです。